



どうなった？ 議会からの 要望指摘事項など

第3次総合振興計画の最終年度

重点施策を中心に予算化

3月定例会 2月19日～3月13日

今定例会では、「平成27年度予算」などの24議案が市長から、また、「狭山市議会委員会条例」の改正に関する議案が委員会から、意見書の提出に関する議案が議員から、さらに請願2件が提出されました。いずれも議長を除く20人の議員で採決の結果、原案のとおり可決・同意され、請願は不採択・趣旨採択となりました。

保育環境を改善 学童保育室の整備

平成26年度要望指摘「学童保育室は、対象児童の拡大を踏まえ施設の整備・充実を」27年度は、入間川東学童保育室が、入間川東小学校敷地内に入間川東小第一・第二学童保育室として移設整備され、28年度は、入間川小学童保育室が拡張されます。その後も、入室児童が増加する場合は、受入環境の改善が図られます。

さらに拡充 住宅用省エネルギーシステム設置補助

平成24年度要望指摘「自然エネルギー活用促進は、補助制度の拡充を」200万円(23年度当初予算)⇒1,000万円(24～26年度当初予算)27年度は2,000万円に。また、住宅用太陽光発電システムのほか、住宅用地中熱利用システムや太陽熱利用システムなどが補助対象に加わり、住宅用省エネルギーシステムの設置促進が図られます。

安心・安全な暮らしに 入曽駅のバリアフリー化設備に補助

市議会は、26年第4回定例会で、国と県に対し入曽駅にエレベーターを設置するため補助金の適用を求める意見書を提出しました。27年度は、公共交通機関の施設整備が市の重点事業に位置付けられ、市として入曽駅バリアフリー化設備(エレベーター、点状ブロック)と新狭山駅のバリアフリー化設備(点状ブロック)の整備などの補助金が予算計上されました。

橋りょうは計画的に長寿命化を推進。27年度は市の重点事業に位置付けられており、建設環境委員会でも25年度のテーマとして市に提言してきた(写真はイメージ)

Point!

予算審査

定例会のポイント 予算案は市長から提出され、議会が審議をしますが、予算案の細部にわたる審査は、常任委員会に付託されています。各常任委員会では、それぞれ所管する予算の審査を行います。その審査は、部長や次長、課長から説明を受け、さらに質疑・答弁を重ね、各事業の予算の必要性や効果を慎重に審査します。また、9月定例会での決算審査の際の要望指摘事項が予算に反映されているかどうか、ここで審査しています。

平成27年度 一般会計予算

歳入歳出448億5千万円

賛成多数(17名)で原案可決

茶の花号の利用状況と運行コースの見直しは。

25年度は約7万3千人の利用があった。運行の見直しは前回の見直しから4年が経過しており、まずは利用者の実態調査に努めたい。

防犯灯の設備では、各自治会がLED化を進めているが、普及率と今後のLED化は。

25年度末で防犯灯の設置数は1万525基。LED

※ESCOは、エネルギー・サービス・カンパニーの略で、顧客の光熱水費の削減実績から対価を得る事業



D化は1339基で、約13%。今後は、LED化への更新に当たりリースやESCO事業(※)などを活用している市町村もあり、事業手法など含め調査研究する。

個人番号カード交付事業の内容と市の独自利用は。

個人番号制度が28年1月から開始されるのに当たり、通知カードの発送と、希望者に個人番号カードを交付するための経費など。また、当市の独自利用は、現在、庁内にワーキンググループを設置し検討している。

2金曜日には地場産野菜などの販売会が開催されている。効果は、販売会やイベントが定期的開催されることで、多くの方が中心市街地を訪れると考えている。

公園管理や公園施設改修事業費の工事内容は。

公園管理事業費は、都市緑化植物園の温室修繕工事やわんぱくの森アスレチックの修繕工事など。公園施設改修事業費は、県実施の川のまるごと再生事業に伴う市で実施する工事。

さやまっ子緊急メールの登録率は。

26年9月時点で公立幼稚園は84.1%、学童保育室は67%、27年2月時点で小学校は89.7%、中学校は86%、公立保育所は97.3%、民間保育園は67.2%、青い実学園は93.3%である。

賛成討論 猪股 嘉直 萩原 義典